

# 報告 REPORT

## 令和5年度 郡市・医育機関医師会組織強化担当役職員 連絡協議会 [令和6年2月17日(土)16:00・北海道医師会館]

副会長 すずき のぶかず  
鈴木 伸和

去る令和6年2月17日(土)16時から、昨年度に引き続き、各郡市・医育機関医師会から組織強化担当役職員に参集いただき、標記協議会をWeb併用にて開催した。32医師会から役職員48名(会場:役員5名、職員5名、Web:役員23名、職員15名)にご出席いただいた。



はじめに、松家会長の挨拶があり、日本医師会・笹本常任理事(当会参与)から「医師会の組織強化」をテーマに医師会の役割や組織強化の重要性について説明いただいたほか、本年秋からの導入を目指して日本医師会で開発中の新会員情報管理システムについて情報提供があった。

### 講演

#### 「医師会の組織強化に向けて」

日本医師会 常任理事 笹本 洋一 先生

#### ●医師会入会率等の現状

日本医師会会員は、2023年(令和5年)12月1日現在で175,933人と前年同日の173,761人から2,172名増えた。2,000名以上増えたのは2001年以降では22年ぶりである。北海道は郡市医師会への入会率は全国平均より高いが、日本医師会への入会率が低い。

郡市医師会には入会しているが、日本医師会まで入会していない先生が全国に約30,000人いるので、更なる入会者を増やすために、ここがアプローチすべきターゲットと考えている。また、研修医の入会率は都道府県によってばらつきが大きく、研修医のオリエンテーションが最もアプローチしやすい場と考えている。

#### ●組織強化に向けた日本医師会の取り組み

組織強化に必要なことは、①入会者を増やす、②退会を減らす、③組織力の向上、である。

そのため、日本医師会では、日医未入会の郡市区等医師会会員に対し、日本医師会長名での呼びかけや、各都道府県医師会、郡市区等医師会の様々な機会、医師会の意義や役割、メリット等について説明して



【日本医師会・笹本常任理事】

きた。また、本年度から医学部卒業後5年目までの会費減免を実施しているほか、本年2月に日本医師会入会案内冊子を新たに作成した。今後も、組織率の現状と危機感を共有するため、組織強化担当役職員連絡協議会等を開催するほか、医師会事業への理解促進ならびに帰属意識の醸成に向けた取り組みを実施していきたい。

日本医師会入会案内冊子は、以下のURLから閲覧が可能です。

URL <https://www.med.or.jp/jma/about/nyuukai.html>



【日本医師会入会案内冊子】

#### ●医師会の役割・意義

医師会の役割は、「国民の生命と健康を守ること」、「医師の医療活動を支えること」である。地域に根差して診療している医師は、自院での診療以外に、時間外の救急対応や地域保健・公衆衛生活動等、様々な活動を連携して行い、地域住民の健康を守るため、それぞれの地域を面として支えている。こうした活動は、かかりつけ医が中心となって担っており、地域医師会はそれに深く関与して運営している。地域にどっぷりつかり、日々地域医療を支えている医師に深く感謝するとともに、こうした活動を国民の皆さんに広く知っていただきたいと思っている。

医師会は開業医の利権団体であるかのように言われることもあるが、そういった誤解を丁寧に払拭していきたい。特に若い先生には、医師会を正しく知

っていただきたいと思っている。

### ●各医師会に取り組んでいただきたいこと

入会促進にあたっては、「face to face」の取り組みが重要であることから、病院に行き、対話を通じた入会促進を考慮いただきたい。継続的な組織強化の取り組みに向けて、①組織強化の仕組みづくり、②三層すべての医師会への入会ならびに開業医は廃業後も医師会員として残っていただくための取り組み、③会費減免と会費減免終了後に医師会に残ってもらうための取り組み、をお願いしたい。入会した若手医師には、医師会員としての定着を図るべく、医師会事業への理解促進ならびに帰属意識の醸成に向けた取り組みの検討をお願いしたい。

### ●新会員情報管理システム構築と全医師会への導入

全国の医師会および医師会員が利用できる、Webベースのシステムを、本年秋からの導入を目指して開発中である。これまで書類で行ってきた入会・異動等の手続きをWeb上で行うことで、医師会員および医師会に入会を希望する医師の負担を軽減することができ、各医師会での情報管理や手続きの効率化等、様々なメリットが期待できる。

詳細は、新会員情報管理システム構築プロジェクト情報共有サイトをご覧ください。

URL <https://member-sys.info/>



その後、事務局から北海道内の医師会組織率の現状を報告し、組織強化に向けた具体的方策について協議を行った。各医師会からは、医学部卒後5年目までの会費減免の実施、減免会員への入会金の廃止、入会手続きを簡略化することで若い先生方が入会し

やすい環境を構築する等しているほか、病院訪問や研修医との懇談会を開催し、医師会の理念や活動内容を知っていただくことや、キャリアプランを紹介していることが、若い先生の入会促進に結びついてる等の意見があった。



【会場の様子】



北海道医師会では、昨年1年間、組織強化に向けて様々な活動をしてきた。その結果、各医師会の協力のもと、日本医師会の会員が1年間で109名増えた。(筆者が執筆した『北海道医報第1266号(令和6年3月1日)指標「医師会の組織強化について」』を参照いただきたい)。

組織強化に特効薬はなく、日頃からの地道な活動を長期間にわたり継続して初めて、成果がでるといふ性質のものである。今後も引き続き、本協議会等を開催し、問題意識を共有できるような環境を整えていきたい。各郡市・医育機関医師会の皆様も一人一人、身近なところから始めて、大きな組織強化につなげていきたいと思っている。更なるご尽力をお願いしたい。